

医療現場で経験を積み
 看護師としての知識と技術を
 磨きたいです。



土屋 恵 さん
 【壁田・23歳】

このコーナーでは、市内で働く元気でフレッシュな皆さんを紹介していきます。
 今回は、総合病院に勤務している看護師の土屋恵さんにお話をうかがいました。

◆ どのような仕事をされていますか？
 手術室で、主に先生の介助や手術の準備、手術器具の点検などを行っています。
 最初は、戸惑いもあり、眠れない日もありましたが、今はだいぶ慣れ、冷静に仕事ができるようになりました。
 患者さんに緊張を与えないように、優しく笑顔で声を掛けるようにしています。



◆ 今後の抱負をお願いします。
 医療現場で経験を積み、看護師としての知識と技術を磨き、向上心をもって、仕事に励みたいと思います。

◆ 今の仕事を選んだ理由はありますか？
 私の祖母が通院しているときに、看護師さんの優しく接している姿を見て、興味を持ち看護の道へ進みました。

◆ 休日ほどのように過ごしていますか。趣味はありますか。
 休日は、洋服などの買物をして楽しんだり、ツイッター(140文字の電子メール)を利用して、同じ職業の人たちと情報交換をしています。趣味は料理で、自宅でよく

◆ 中野市にはどのようなイメージを持っていますか。
 とても、過ごしやすい所だと思います。自然が豊かで落ち着きます。
 また、中野ひな市や中野シヨンシヨンまつりなど、イベントがたくさんあるので、毎年楽しみにしています。

クイズの答えと、住所、氏名、年齢、電話番号を記入のうえ、日ごろ感じていることを書き添えて、次の宛先まで送付してください。
 締め切り 1月25日(火)必着
 ※当選はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

切手 383-8614 中野市三好町一丁目 3番19号
 中野市役所 庶務課秘書広報係
 住所・氏名・年齢・電話番号



広報クイズ
 ■今月のプレゼント
 月の兔ストラップ
 ……5名
 問題
 サービスをご利用ください

未来への挑戦

チャレンジ

第1回

このコーナーでは、地域資源(農産物、地場産業の加工品などの特産品、歴史・文化、自然・風土、観光地)などを活用した新たな取り組みや地域の活性化に取り組んでいる市民の皆さん、団体などを紹介していきます。

「種なし巨峰の瓶詰加工」

○きっかけ・取り組み
 ブドウのない季節に、おいしいブドウが食べたいと思い、20年ほど前から趣味で自家栽培のブドウで瓶詰加工を始めました。



左から湯本佐久江さん、湯本奈々子さん(竹原)

ブドウは、大粒の種なし巨峰やピオーネを使っています。新鮮な取れ立てを使うことで、生食用ブドウと同じ食感で食べられます。
 作り方は、ブドウの皮をむき、瓶の中にブドウとシロップを入れ、脱気と殺菌を行い出来上がりです。ブドウは、包丁で一粒一粒丁寧に皮をむいていきます。
 始めたころは、脱気、殺菌の時間調節がうまくいかず、瓶詰め後に、実が割れるなど、とても苦勞し、試行錯誤を繰り返しました。
 特に皮むきには時間をかけ、工夫を凝らしています。

○転機は
 第17回信州の味コンクール(平成19年10月開催)において、「種なし巨峰のビン詰め」の作品を応募したところ、最優秀賞(県知事賞)を受賞しました。
 平成20年11月には、食品営業許可を取り加工生産を始めました。食の安全・安心に関して、異物混入がないように、衛生面には特に気を遣っています。

○目標
 おいしいブドウ作りをしながら、家族で作業分担を確立し、瓶詰加工に専念できたらと思います。

市民リレーインタビュー 走者 キャッチボール

No.40

中山 静恵さんから紹介された



なかがわ ひろゆき
 中川 宏幸 さん
 (会社員・松川)

①自己紹介
 趣味はフットサルで、キーパーとして、週2回の練習で汗を流しています。また、旅客機が大好きなので、迫力ある旅客機を眺めに空港まで足を運ぶこともあります。

②今後チャレンジしたいこと
 健康維持のため、毎日ジョギングなどの運動を続けていけるように頑張ります。

③これからのまちづくりに望むこと
 核家族が多い現代において、お年寄りと子どもが世代を超えて触れ合い、お互いが癒し合えるような、老人ホームと保育園を融合した施設があればいいなと思います。

自分の洋品店を開きたい



なまがわ ねみ
 奈波 奈年 さん
 4年 倭小学校 町田

わたしの夢は、自分の洋品店を開くことです。ぜんぶ手作りで、お客様に気に入ってもらえるかわい衣服をつくって、お客様をえがおにしたいです。
 さいしょは、ミスをしなからでも、少しずつうまくなって、千着以上の服をつくっていききたいです。1日に百着くらい手作りの服が売れるといいです。

小さい子や、おとしよりの人たちなどのお客様に、たくさん服を買ってもらいたいです。
 小さい子にたくさん来てもらうために、おもちゃやおかしなどをおきます。体のいたいおとしよりの方たちのためには、ふわふわなまくらやクッションなどもおきます。
 そして、お客様となかよくなつて、「やさしい店員さんたちだなあ」と思ってもらいたいです。
 友だちといっしょにお店を開いて、たくさんのお客様とお客で、店をささえつづけていきたいです。



No.69